

# 鳥取県への学生派遣プログラム 2015

## 鳥取県での現地調査（9月1日～4日）



プログラム1日目（フィールドワーク，意見交換会，懇親会）（9月1日）

2015年度は参加学生7名・2グループが、鳥取県西部の西伯郡伯耆町二部地区を訪問しました。伯耆町は、東部の鳥取砂丘と並ぶ自然遺産である大山の西側に位置し、美しい自然を有した人口約11,400人の町です。その中の二部地区は藩政時代の出雲街道宿場まちとして、また明治から大正末期まで日野郡役所が置かれ、行政・経済の中心地として栄えていました。しかし、現在は少子高齢化や過疎化に伴う人口減少などが、深刻な問題となっています。

町から提示いただいた2つのテーマに対し、6月より事前調査・事前研修を経て9月に現地を訪問し、地域住民の皆様のご協力の下、熟議やインタビューを通して現地の問題と向き合いました。そして、伯耆町の魅力を知った自分達だからこそできる課題解決策とはどのようなものなのか、参加学生全員が真剣にテーマに向き合い、議論を交わした4泊5日となりました。

| グループ名 人数       | 課題テーマ                      |
|----------------|----------------------------|
| <b>にぶーむ</b> 3名 | 二部の歴史文化を活用した地域の活性化         |
| <b>青の了解</b> 4名 | 株式会社上代・農家食堂上代学校の集客アップを目指して |

### 【1日目（9月1日）】

米子到着後早速、伯耆町二部地区にある農家食堂・上代学校に向かい昼食です。ここは廃校をととなった二部小学校分校を利用して作られた食堂です。「上代学校の集客アップを目指して」が今回取り組むテーマにもなっているため、学生たちの現地調査はすでに始まっています。施設や料理に注目し、現時点での自分達を感じた事をグループで確認しながら昼食を取りました。



午後は早速グループに分かれ、地域団体の方々に案内いただいたの史跡巡りや集落見学、そして熟議を行いました。自己紹介では緊張からなかなか発言ができなかったメンバーも、二部地区の歴史や豊かな自然に触れた後の熟議では、疑問や意見を積極的に発言できるようになりました。



そして夕方からは上代学校の敷地内で、地域の方約50名に参加いただいたのバーベキュー懇親会を行いました。地元的女性手作りのお漬物やおにぎり、株式会社上代提供のどぶろく等、美味しいお米・お野菜・お肉をお腹いっぱいいただき二部地区の皆さんの優しさに触れました。



宿泊先到着後は、学生のためのグループワーク。一日の疲れはありましたが、なんとか地域の方に喜んでいただける提案ができるよう、皆夜遅くまで議論を交わしました。

**プログラム2～3日目（町内見学、班ごとの調査・インタビュー）**（9月2日～3日）

二日目は午前から伯耆町内巡りでした。二部地区だけではなく、伯耆町全体の良い所を見てほしいという地域や役場の方のご提案により、伯耆町の見どころを沢山ご紹介いただきました。観光客が多く集まる大山周辺から、どのように人を誘致すればいいのか等、学生たちは常に考えながら伯耆町の豊かな資源を楽しみました。



二日目午後から三日目は、熟議・ヒアリング・インタビューで地域の方との意見交換を行いました。約10もの地域団体の皆様にお付き合いいただき、時に厳しいご指摘を受けながらも、それ以上に温かい対応やアドバイスをいただきました。

移動時間以外はほぼ全て熟議という忙しいスケジュールでしたが、訪問前に抱いていた意見や方向性がいよいよ意味で裏切られ、地元の方の想いに触れる充実した時間を過ごしました。

宿泊先での学生のためのグループワークは、連日会議室の使用時間を過ぎた後も、部屋に移動し熱心に議論を重ねました。皆眠る時間を削り、妥協する事なく真剣に最終日の中間発表会に向けて自分達の提案を作り上げていきました。





**プログラム4日目（発表リハーサル，中間発表会）（9月4日）**

最終日は、これまでの成果を中間報告の形で地域の皆様へ発表します。前日はほとんど寝ていない学生達ですが、午前中から会場に入り発表準備を行いました。

自分達の提案がしっかり伝わる発表なのか、発表用のスライドに修正はないのか、話す速度はこれでいいのか、リハーサルを行いながら最後の調整です。

そして本番、伯耆町ケーブルテレビの取材も入りながら、地域の方約50名にお集まりいただきました。

緊張の中の発表でしたが、地域の皆さんは頷きながら真剣に聞いてくださいました。2チームともこれまでの成果をしっかり詰め込んだ内容となっていたため、会場からは沢山の質問の手が挙がり、関心の高さを感じる事ができました。



あっという間の3泊4日が終了し、夕刻東京に到着しました。今後学生達は、最終報告書の提出期日である10月末に向けて、中間発表会でいただいた意見を参考にしながら、より地域で活用可能な提案ができるよう、更に内容を磨いてまいります。

森安伯耆町長をはじめ鳥取県職員、伯耆町職員、二部地区住民のみなさま、取材や熟議・突然の訪問にも温かくご対応いただき、誠にありがとうございました！